

桐生繊維業界の実態

平成22年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成22年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	12 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	146 億 7,425 万円	
(2) 加工高	14 億 1,462 万円	
(3) 販売高	76 億 3,590 万円	
計	237 億 2,477 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比90%）	20 億 1,947 万円	
計	257 億 4,424 万円	（前年対比 90%）
3. 組合員数（事業所数）	280 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	2,152 人	
5. 一事業所当たり従業員数	8 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	8,473 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 3年 産地収入	908 億 7,740 万円	（前年対比 98%）
平成 4年 産地収入	1,001 億 1,232 万円	（前年対比 110%）
平成 5年 産地収入	893 億 2,611 万円	（前年対比 89%）
平成 6年 産地収入	845 億 3,438 万円	（前年対比 95%）
平成 7年 産地収入	733 億 6,672 万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678 億 3,478 万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616 億 9,017 万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528 億 4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億 6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億 7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億 8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億 2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億 0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億 8,571 万円	（前年対比 131%）
平成17年 産地収入	436 億 5,236 万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397 億 4,442 万円	（前年対比 91%）
平成19年 産地収入	375 億 4,078 万円	（前年対比 94%）
平成20年 産地収入	318 億 2,356 万円	（前年対比 85%）
平成21年 産地収入	287 億 2,461 万円	（前年対比 90%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数					従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)		計 (人)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	62	186	228	57	77	548	54
	内地協議会	65	159	285	58	63	565	57
桐生染色組合		12	40	16	6	5	67	58
桐生繊維製品協同組合		22	130	184	25	23	362	44
桐生織物産地元売組合		4	7	4	0	2	13	54
桐生糸商組合		9	18	9	15	6	48	47
桐生刺繍商工業協同組合		47	75	110	65	64	314	60
東日本編レース工業組合		10	20	12	20	13	65	50
桐生意匠組合		11	2	2	3	7	14	55
桐生紋紙組合		11	6	0	6	5	17	61
東毛ジャカード刺繍協同組合		9	9	14	9	9	41	49
桐生織物商友会		12	18	7	8	9	42	57
桐生テキスタイル商業グループ		6	32	19	4	1	56	46
合計		280	702	890	276	284	2152	

注

- (1) 平成 7 年 1 月 13 日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7 年 5 月 17 日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	402, 822	22, 168	424, 990	96	0	100
	内地協議会	202, 932	-	202, 932	81	0	100
桐生染色組合		-	50, 000	50, 000	91	55	45
桐生繊維製品協同組合		700, 700	28, 657	729, 357	84	15	85
桐生刺繍商工業協同組合		36, 800	38, 700	75, 500	80	70	30
東日本編レース工業組合		86, 165	-	86, 165	95	55	45
桐生意匠組合		5, 800	-	5, 800	91	90	10
桐生紋紙組合		5, 000	-	5, 000	100	90	10
東毛ジャカード刺繍協同組合		27, 206	1, 937	29, 143	91	2	98
合 計		1, 467, 425	141, 462	1, 608, 887	87	15	85

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	56, 000	97	15	85
桐生糸商組合	438, 000	96	70	30
桐生織物商友会	69, 315	95	12	88
桐生テキスタイル商業グループ	200, 275	95	1	99
合 計	763, 590	96	43	57

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	372, 990	88	52, 000	12	424, 990
	内地協議会	202, 932	100	-	-	202, 932
桐生染色組合		50, 000	100	-	-	50, 000
桐生繊維製品協同組合		714, 770	98	14, 587	2	729, 357
桐生織物産地元売組合		56, 000	100	-	-	56, 000
桐生糸商組合		438, 000	100	-	-	438, 000
桐生刺繍商工業協同組合		75, 500	100	-	-	75, 500
東日本編レース工業組合		81, 857	95	4, 308	5	86, 165
桐生意匠組合		5, 800	100	-	-	5, 800
桐生紋紙組合		5, 000	100	-	-	5, 000
東毛ジャカード刺繍協同組合		29, 143	100	-	-	29, 143
桐生織物商友会		69, 315	100	-	-	69, 315
桐生テキスタイル商業グループ		180, 248	90	20, 027	10	200, 275
合計		2, 281, 555	96	90, 922	4	2, 372, 477

5. 各団体の取扱品目

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物協同組合（広幅協議会）	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
	63	22	10	5	
桐生織物協同組合（内地協議会）	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
	59	19	15	7	
桐生染色組合	合織	レーヨン・アセート・ キュプラ	絹	綿・ウール	
	80	10	5	5	
桐生繊維製品協同組合	ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
	38	18	8	1	35

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
	50	20	10	5	15
桐生糸商組合	化合織	綿・スフ	その他		
	80	13	7		
桐生刺繍商工業協同組合	雑貨	婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工
	30	20	20	15	15
東日本編レース工業組合	インテリア	衣料	資材		
	72	15	13		
桐生意匠組合	洋反	インテリア	帯	金襴	
	60	20	10	10	
桐生紋紙組合	エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
	40	35	25		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッペン・刺繍	プリント加工	トレーナー
	48	29	14	7	2
桐生織物商友会	和装小物	帯	二次製品	着尺	その他
	39	32	24	1	4
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係	その他		
	60	39	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名	設備名	数量（台）
桐生織物協同組合（広幅協議会）	普通織機	742
	自動織機（片レピア含）	244
	超自動織機（レピア）	408
	計	1394
桐生織物協同組合（内地協議会）	広幅織機	70
	並幅織機	742
	小幅織機	148
	自動・レピア織機	206
	計	1166
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	60
	高圧噴射式染色機	14
	汎用染色機	10
	チーズ及びケーキ染色機	30
	計	114
桐生繊維製品協同組合	縫製マシン（特殊含）	244
	プレス	23
	裁断機	15
	その他	54
	計	336
桐生刺繍商工業協同組合	横振マシン	47
	多頭式マシン	360
	計	407
東日本編レース工業組合	ジャカード落下板付きラッセル機	20
	ジャカード落下板付きコンピューター機	7
	チェーンラッセル機	48
	チェーンラッセルコンピューター機	8
	計	83
桐生意匠組合	デザインシステム	29
	拡大機	2
	コピー機	10
	計	41
桐生紋紙組合	デザインシステム	20
	カードパンチ	11
	横彫カット・エンドレス	15
	ワンパンチ	3
	計	49
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターマシン	29
	プレス	6
	パンチング製版機及びプリント機	5
	本縫いマシン及びその他の機械	30
	計	70

7. 最近の推移（H22年10月～H23年2月）

団体名	受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
	増	変らず	下降	前年対比 （％）	増	変らず	下降	前年対比 （％）
桐生織物協同組合（広幅協議会）			○	95			○	95
桐生織物協同組合（内地協議会）			○	88			○	90
桐生染色組合			○	85			○	85
桐生繊維製品協同組合	○			103			○	95
桐生織物産地元売組合		○		100			○	95
桐生糸商組合			○	95	○			110
桐生刺繍商工業協同組合			○	80			○	80
東日本編レース工業組合			○	97			○	97
桐生意匠組合			○	80			○	90
桐生紋紙組合			○	70		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合			○	90		○		100
桐生織物商友会			○	95		○		100
桐生テキスタイル商業グループ		○		100	○			105
合計	1	2	10		2	3	8	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成22年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・服地部門は、不況に加え、天候不順による原料不足などから原材料費が高騰し、価格の上昇を招いており、「買い控え」に拍車をかけている。また輸出においては、円高の影響が大きく、なかなか回復の糸口が見つからないが、経済成長を遂げるアジア諸国の富裕層などにおいては、値段のこなれた高級品に飽き、目新しい超高級品に興味を示す向きもあるようだ。
- ・和装部門は、今まで市場に出ていなかった商品で、さらに類似の商品が出回らないような独創的な商品が求められており、なければリサイクル品でも満足している様子もあり、大量生産される製品は敬遠される傾向である。

平成22年の状況、事業概要

- ・服地部門は、10月に東京青山にて「桐生テキスタイルコレクション 2011AW」を開催。また、JFW ジャパンクリエーションにも出展した。また輸出向けとしては、欧州向けテキスタイル輸出展示商談会（7月大阪）、テックスワールドパリ（9月）に出展参加した。
- ・和装部門は、流通の弱体化により産地製品をPRする機会が不足している為、東京や京都などの集散地に出向き、積極的に展示会を開催した。また、メーカーとしての使命である新製品開発を目的に、新しい感覚の図案を求め製品化する事業を展開した。その他、伝統的工芸品産業振興はもとより、和装振興のために多くの事業を行った。

今後の課題

- ・服地部門は、海外に流出していた生産部門が、途上国の経済成長に伴う人件費の上昇等により一部国内に戻ってきているとの情報もあるが、一過性のものと思われる。しかし、量産品の無地物に押され気味だった市場に、わずかながら柄物復調の兆しが見える。これを手繰り寄せる為には、多品種少量の特色を生かし、付加価値をつけた変わり織物の開発が課題。
- ・和装部門は、きもの離れの歯止め、消費者の購買意欲を喚起する魅力ある製品の開発、信頼と積極性を求める販路の開拓、地域団体商標「桐生織」を活用したブランド力の向上など、今後の課題は多い。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・織物が引き続き下降ぎみ。ここ2～3年、極細糸使いの商品が好調だったが、中国に類似品が台頭し市場を荒らした。
- ・比較的、ニットおよびレース（アウター）は好調であった。しかしレースのインナーは、そのほとんどが中国加工である。

平成22年の状況、事業概要

今期も燃料（ガス）代の値上げが5%あり、経営は非常に厳しいものがある。全体的に加工量は毎年減少し続けている。

今後の課題

- ・地場の特徴を活かした商品づくり（素材や加工方法、編織の方法、機械などをフルに活かす）が必須。
- ・非生産的な低速編機を使用して差別化を図り、世界的に有名になったメーカーが桐生にもある。大いに参考にして生き残りを図る必要がある。

桐生繊維製品協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・メイドインジャパン製品のニーズが高まっている。

平成22年の状況、事業概要

- ・ニュース等にて、一部大手企業などで景気回復の兆しありと目にはするが、繊維業界全体としては、依然、厳しい状態が続いている。しかし、尖閣諸島問題以降は、国内生産へシフトする企業が増え、少し明かりが見えてきた。

今後の課題

- ・仕事量が増えても単価が上がらないという状況が、まだしばらく続くと予想されることから、生産性向上や経費削減等の対応が必要である。また、今後予想される大口受注に対応する為の生産ラインの確保や、組合員同士のネットワーク強化など準備に努めたい。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・中国、インドネシア等、海外商品の品質が向上してきたため、消費者がアジア諸国の製品に違和感を持たなくなった。品質が良く低価格のものしか売れない。

平成22年の状況、事業概要

- ・日本経済が多少上向きになってきたとの政府発表もあるが、中小企業、特に繊維関係は、まだまだ先の見えない状況である。当組合も年々、売上減少が続いている。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・中国製品に無いものを求め、より機能的な繊維や特徴のある繊維を志向する傾向にある。また、中国経済の変化を危惧し、仕入先を国内に移行する風潮も出てきている。

今後の課題

- ・両毛地区、米沢地区、山梨地区の織物は悪い状態が続いているが、北陸地区等、その他の地区は満杯の状態が続いていると聞く。このままの状態が続くと、両毛地区の下準備行程や後処理行程の存続が難しくなり、ますます産地として成り立たなくなる気がする。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ニーズの多様化による小ロット生産が主体となっている。

平成22年の状況、事業概要

- ・大きなロットの減少が経営を圧迫している。さらに材料等の値上がりも問題となっている。

今後の課題

- ・技術者の高齢化により、人材確保が難しい状況にある。また、後継者問題や原材料の調達が難しいという問題もある。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・一戸建てやマンションなどの建築数が微増したが、全体的にレース製品の販売数量は少なく、

在庫が増加している。このまま原料高の製品安が続くと考えられるが、23年になり、多少増加する可能性が見えてきた。

平成22年の状況、事業概要

- ・インテリア関連は全般的に不振であったと思われる。
- ・カーテンレース、ブラインド関係は格安物が主流であり、国内生産は少なく、輸入物が多くなったのが現状である。

今後の課題

- ・国内市場が伸びないため、世界市場（特にヨーロッパ）への販路開拓に向けた取り組みが必要である。具体的には新商品開発や、新機能性製品と天然繊維との組み合わせによる独自商品を開発し、桐生ブランドとして世界市場へ販売する努力が必要である。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・一般的には価格重視であるが、オリジナル商品や魅力的な商品に対しては、多少の高価格でも購買意欲を持ってもらえるようになってきた。

平成22年の状況、事業概要

- ・天然繊維や化学繊維などの価格高騰により、製造原価に影響があるが、売値などは上げられず厳しい状況である。

今後の課題

- ・価格に左右され難い新商品の開発をスムーズに行えるよう、個々の事業所の強みを活かしながら、事業間で積極的に連携していける「ものづくり体制」の整備が課題である。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者ニーズは、昨年以上に多種多様化している。
- ・問屋が本来の業務である在庫投資をしていない。
- ・大手商社に販売を頼りすぎると同質化が進んでしまう。差別化が求められるようになっている。

平成22年の状況、事業概要

- ・中国の縫製工場にキャパを越える注文があり、日本国内に縫製の仕事が戻ってくる可能性があるが、国内縫製工場の廃業が進んでいることや、工賃が中国と同程度を求められることなどを考慮すると、どの程度受け入れられるかは未知数である。
- ・中国内陸部に工場が増えてきた為、今まで沿岸部に出稼ぎに出ていた労働者が減り、沿岸部に拠点を置く日系商社や管理企業では、納期遅れのクレームが多発している。

今後の課題

- ・原点に立ち戻り、良い商品を作ることを大前提に、より完成度を上げた商品づくりを目指す。また、商品の提案方法についてもスキルアップを図る。
- ・服地以外の用途開発を行う。
- ・小ロット発注に柔軟に対応できる受注体制を構築する。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	後 藤 隆 造	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊 藤 久 夫	桐生市相生町2-620 (株)アート内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	木 村 俊 一	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生繊維製品協同組合	岡 部 利 明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生織物産地元売組合	木 村 俊 一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店 内	53-5131
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	岩 崎 朝 嗣	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	中 野 隆 雄	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	増 田 正 明	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠 田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	江 原 毅	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 財団法人桐生地域地場産業振興センター内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電 話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300